

# コニカミノルタグループ 2011年3月期 第2四半期決算説明会

**2010年10月28日**  
**コニカミノルタホールディングス株式会社**  
**代表執行役社長 松崎正年**



## **本資料の記載情報**

**本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。**

## **将来見通しに係わる記述についての注意事項**

**本資料で記載されている業績予想及び将来予想は、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。**

# 今回の決算のポイント(対公表値)



KONICA MINOLTA

## 上半期実績

- ▶ 情報機器事業は、高採算のMFP新製品が牽引し、半期を通して販売は堅調に推移。部品不足等に起因した1Qでの逸失収益は2Qで概ねキャッチアップ。売上高は円高影響で僅かに未達ながら、営業利益は超過達成。
- ▶ オプト事業は、主力製品全般に顧客先の生産調整の影響を受け、2Qは伸び悩む。
- ▶ 全社では、オプト事業の下振れと円高影響を、情報機器事業及びその他の事業の上振れ、コスト削減で補完。売上高は僅かに未達ながら、営業利益、当期純利益は超過達成。

## 通期業績見通し

- ▶ 3Q以降の為替前提は、USDドルを5円円高に見直し、『USDドル=85円、1-円=110円』とする。
- ▶ 売上高は、円高による換算上の目減り、オプト事業での生産調整の影響等をリスク要因として織り込み、前回予想から300億円減少を見込む。
- ▶ 利益は、MFP新製品の販売が好調な情報機器事業及びその他の事業での利益増加と、全社あげてのコスト削減努力によってマイナス影響を補完し、営業利益、当期純利益とも前回予想を据え置く。

# 2010年度上半期 全社業績要約



KONICA MINOLTA

(単位:億円)

	10年度		増減率 YoY	10年度 1H公表値	10年度四半期別		増減率 QoQ	
	1H実績	09年度 1H実績			1Q実績	2Q実績		
売上高	3,918	3,933	0%	4,000	1,947	1,972	1%	
営業利益	226	92	147%	210	98	128	30%	
(営業利益率)	5.8%	2.3%		5.3%	5.1%	6.5%		
のれん代償却費	43	48	-10%	45	22	21	-4%	
のれん代償却前営業利益	269	139	93%	255	120	149	23%	
(のれん代償却前営業利益率)	6.9%	3.5%	3.3%	6.4%	6.2%	7.5%		
当期純利益	86	35	144%	80	35	51	47%	
(当期純利益率)	2.2%	0.9%		2.0%	1.8%	2.6%		
為替レート	USD	88.94	95.49	△ 6.55	※ 90.00	92.01	85.87	△ 6.14
	Euro	113.83	133.16	△ 19.33	110.00	116.99	110.66	△ 6.33

※10年度2Q以降の前提レート

# 2010年度上半期 業績の総括



KONICA MINOLTA

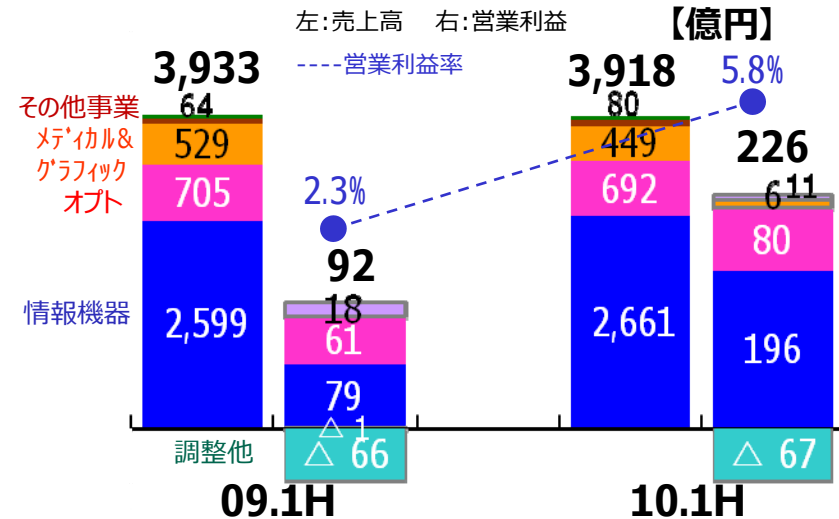
## 上半期実績(対前年比)

- 売上高:  $\Delta 0\%$  (為替影響除く +6%) /YoY
- 営業利益: +147% (為替影響除く+273%) /YoY
- 営業利益率: 3.5ポイント改善/YoY
- ▶ 情報機器事業、オプト事業を中心に主力製品の販売数量が伸長。
- ▶ 売上高は、円高影響等で前年並みの水準に留まる。営業利益は、情報機器事業を中心に大幅回復。

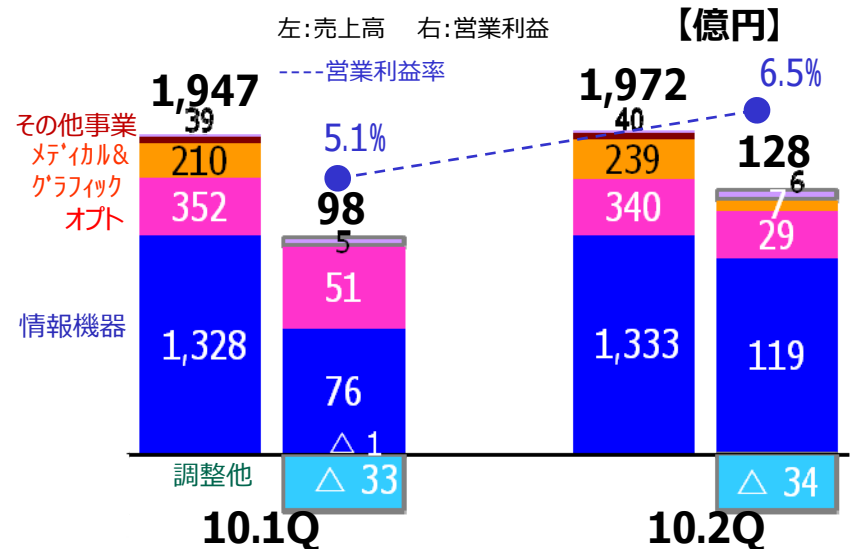
## 2Q実績(対直前期比)

- 売上高: +1% (為替影響除く +5%) /QoQ
- 営業利益: +30% (為替影響除く+56%) /QoQ
- 営業利益率: 1.4ポイント改善/QoQ
- ▶ オプト事業は、調整影響を受け2Qは伸び悩むが、それ以外の事業は全般にモメンタムは堅調。
- ▶ 円高が進行する中で、情報機器事業が増収増益を維持し、2Qの全社業績を牽引。

### ◆グループ売上・営業利益 (YoY)



### ◆グループ売上・営業利益 (QoQ)



# 2010年度上半期 セグメント別売上高・営業利益



KONICA MINOLTA

(単位:億円)

売上高	10年度	09年度	増減率 YoY	10年度	10年度四半期別		増減率 QoQ
	1H実績	1H実績		1H公表値	1Q実績	2Q実績	
情報機器	2,661	2,599	2%	2,690	1,328	1,333	0%
オプト	692	705	-2%	710	352	340	-3%
メディカル&グラフィック	449	529	-15%	490	210	239	14%
その他事業	80	64	24%	80	39	40	3%
調整他	37	36	4%	30	18	20	13%
グループ計	3,918	3,933	0%	4,000	1,947	1,972	1%

営業利益	10年度	09年度	増減率 YoY	10年度	10年度四半期別		増減率 QoQ
	1H実績	1H実績		1H公表値	1Q実績	2Q実績	
情報機器	196	79	148%	190	76	119	56%
(営業利益率)	7.4%	3.0%		7.1%	5.8%	9.0%	
オプト	80	61	31%	90	51	29	-43%
(営業利益率)	11.6%	8.7%		12.7%	14.5%	8.5%	
メディカル&グラフィック	6	18	-68%	5	△ 1	7	黒転
(営業利益率)	1.3%	3.4%		1.0%	-0.4%	2.8%	
その他事業	11	△ 1	黒転	5	5	6	23%
本社費用・調整他	△ 67	△ 66	-	△ 80	△ 33	△ 34	-
グループ計	226	92	147%	210	98	128	30%
(営業利益率)	5.8%	2.3%		5.3%	5.1%	6.5%	

# 情報機器事業 2010年度上半期の概況



KONICA MINOLTA

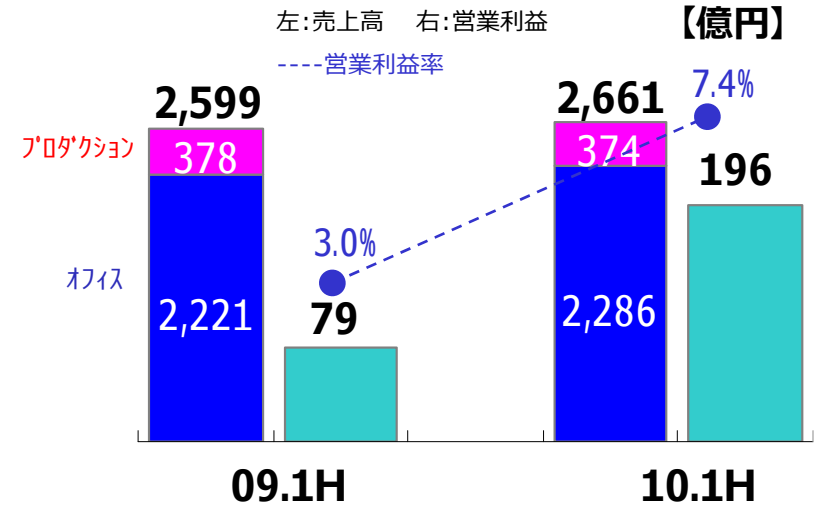
## 上半期実績(対前年比)

- 売上高: +2% (為替影響除く +11%) /YoY
- 営業利益: +148% (為替影響除く +267%) /YoY
- 営業利益率: 4.4ポイント改善/YoY
- ▶ 国内外ともMFP販売台数は回復基調を維持。  
売上高は円高の中でオフィスが牽引し増収。  
営業利益は大幅増益。
- ▶ カラー/モノクロともに高採算の新製品の販売が牽引し、  
製品ミックスが改善。これに伴い利益率が急回復。

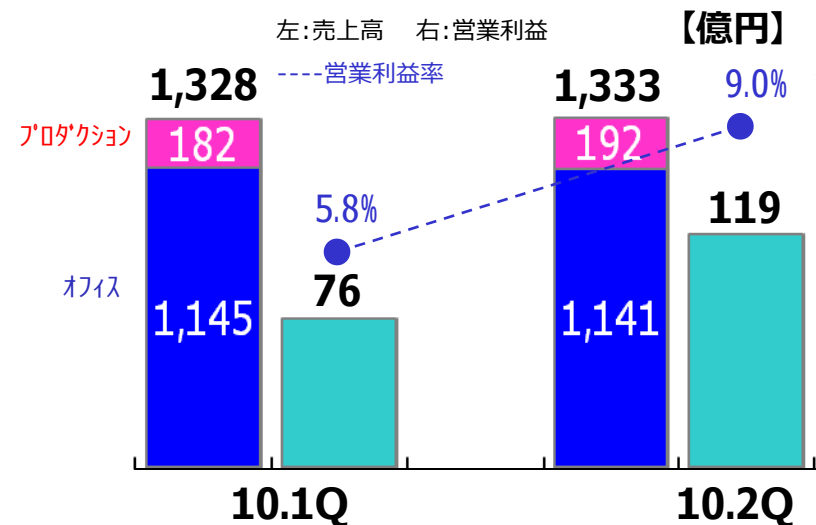
## 2Q実績(対直前期比)

- 売上高: +0% (為替影響除く +5%) /QoQ
- 営業利益: +56% (為替影響除く +79%) /QoQ
- 営業利益率: 3.2ポイント改善/QoQ
- ▶ 部品不足は解消し、1Qのスタートは2Qで挽回。
- ▶ 円高が一層進行する中で、QoQ、YoY、とも増収増益を  
確保。上半期通して収益回復のモメンタムを維持。

### ◆売上・営業利益 (YoY)



### ◆売上・営業利益 (QoQ)



# 情報機器事業 2010年度上半期の販売状況



KONICA MINOLTA

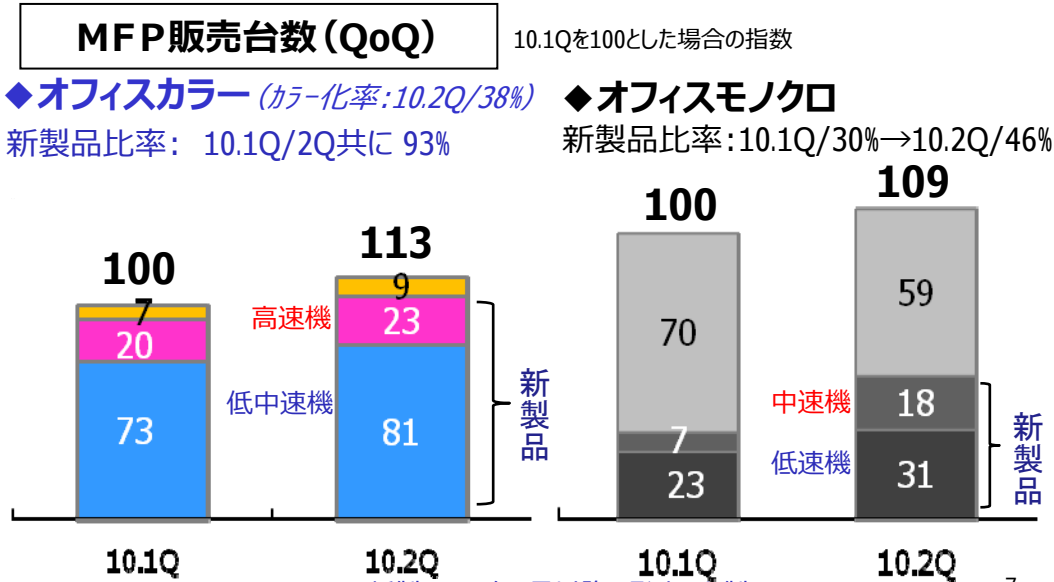
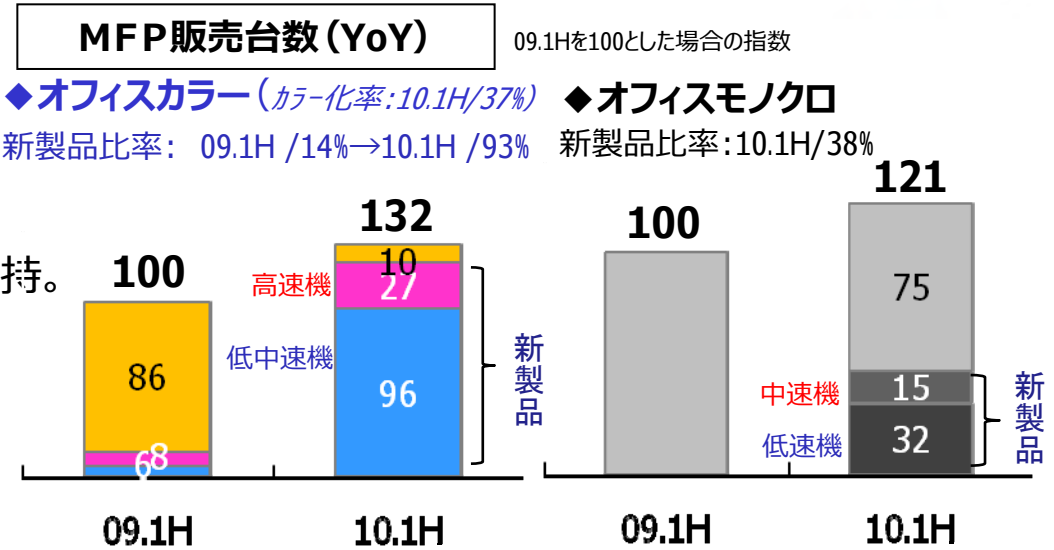
## 上半期実績 (対前年比)

- オフィスMFP販売台数 : +25%/YoY
- ノンハード売上 (現地通貨ベース) : +4%/YoY
- ▶ 新製品構成比上がり、海外市場は二桁成長を維持。  
<MFP販売台数 地域別YoY増減>

	カラー	モノクロ
・北米	+10% ( +27%)	+0%
・欧州	+24% ( +29%)	+20%
・日本	+4% ( +17%)	△10%
・その他	+37% ( +53%)	+34%

## 2Q実績 (対直前期比)

- オフィスMFP販売台数 : +10%/QoQ
- ノンハード売上 (現地通貨ベース) : +1%/QoQ
- ▶ カラー・モノクロともQoQでも成長モメンタムを維持。
- ▶ 2Qは、モノクロMFPの新製品比率が高まる。






※新製品:09年4月以降に発売した製品



## A3 カラー MFP



**bizhub C360**   
**bizhub C280**   
**bizhub C220** 

## A3 モノクロMFP



**bizhub 423**  
**bizhub 363**  
**bizhub 283**  
**bizhub 223**

## 新興国専用 A3 モノクロMFP



**bizhub 184**  
**bizhub 164**

## A4 カラーMFP



**bizhub C35** 

# 情報機器事業 営業利益増減分析

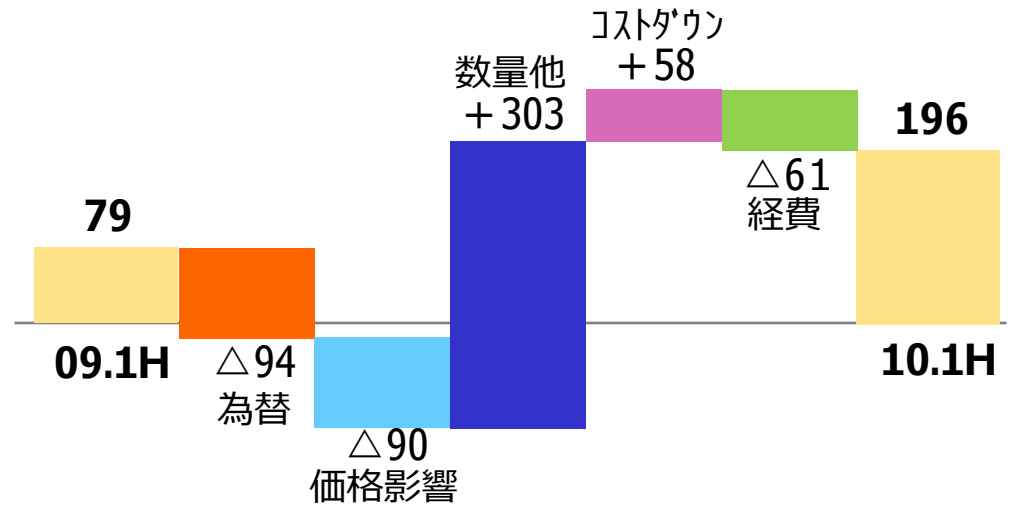


KONICA MINOLTA

【億円】

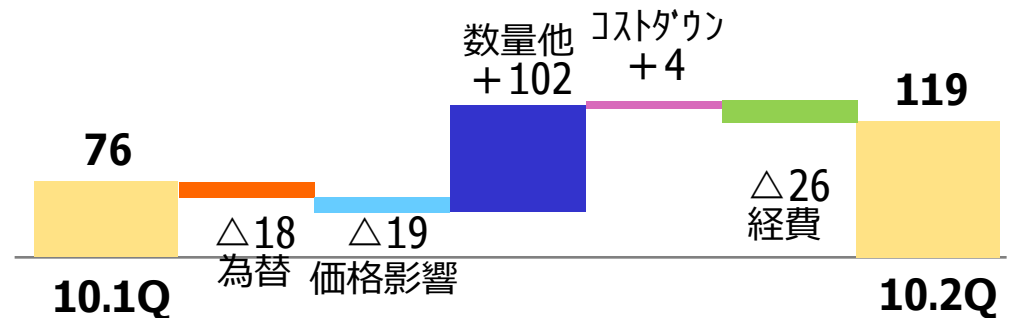
## 対前年 (09.1H→10.1H)

- ▶ コストダウンは、主に電装系部品の統一化や調達努力による。
- ▶ 経費増は、物量増に伴う物流費増など販売変動費関連が主因。



## 対直前期 (10.1Q→10.2Q)

- ▶ 数量他は、新製品投入及び高速セグメントシフトによる製品ミックス改善。
- ▶ 経費増は、物量増に伴う販売変動費の増加や研究開発費が主因。



# オプト事業 2010年度上半期の概況



KONICA MINOLTA

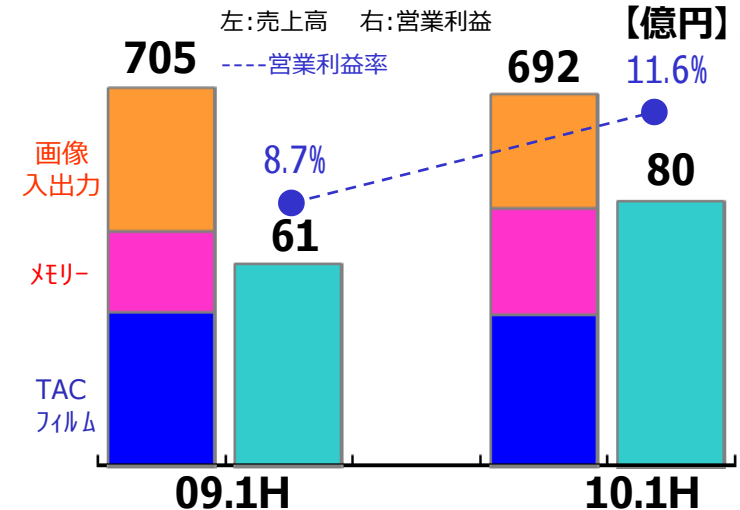
## 上半期実績(対前年比)

- 売上高:  $\Delta 2\%/YoY$
- 営業利益:  $+31\%/YoY$
- 営業利益率: 2.9ポイント改善/ $YoY$
- ▶ ガラスHD基板が増収ながら、レンズユニット関連が減収。TACフィルム等の調整影響もあり前年並みの売上に留まる。
- ▶ ガラスHD基板の販売増に伴う利益増が増益を牽引。

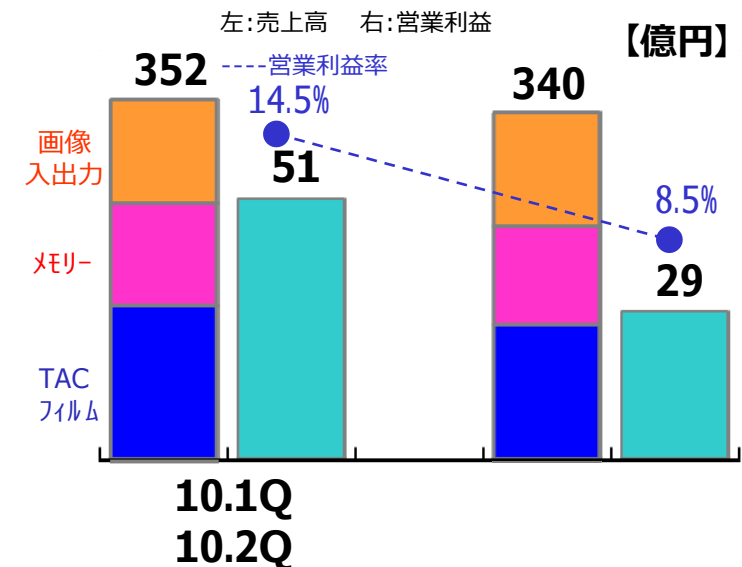
## 2Q実績(対直前期比)

- 売上高:  $\Delta 3\%/QoQ$
- 営業利益:  $\Delta 43\%/QoQ$
- 営業利益率: 6.0ポイント悪化/ $QoQ$
- ▶ デジタル家電全般に夏以降、顧客先で生産調整が始まり1Qと2Qでは大きく流れが変わる。
- ▶ TACフィルム、ガラスHD基板、ピックアップレンズの主力製品は総じて2Qは伸び悩み、収益力が低下。

### ◆売上・営業利益 (YoY)



### ◆売上・営業利益 (QoQ)



# オプト事業 2010年度上半期の販売状況



KONICA MINOLTA

## TACフィルム

- ▶ 上半期 (YoY) は、VA-TACは減少したが、薄膜・広幅TACが牽引し、全体の販売数量は+7%増加。
- ▶ 2Q (QoQ) は、調整影響を受けて全体数量減少の中、VA-TACは1Q水準を維持。

## ガラスHD基板

- ▶ 上半期 (YoY) は、高記録密度の320GB用が牽引して、販売数量は大きく伸長。
- ▶ 2Q (QoQ) でも320GB用は伸びるが、調整影響により、全体数量は伸び悩む。

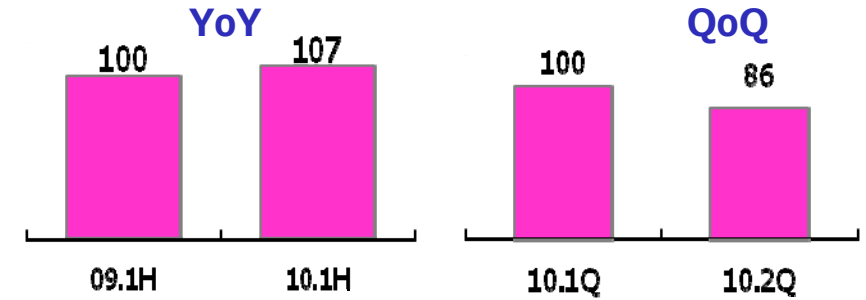
## 光ピックアップレンズ

- ▶ 上半期 (YoY) は、BD用、DVD用ともに販売数量は伸長。但し、BD用のプラスチック化拡大により平均単価が低下し、事業収益は伸び悩む。
- ▶ 2Q (QoQ) は、全ての用途向けに調整が入り、成長鈍化。

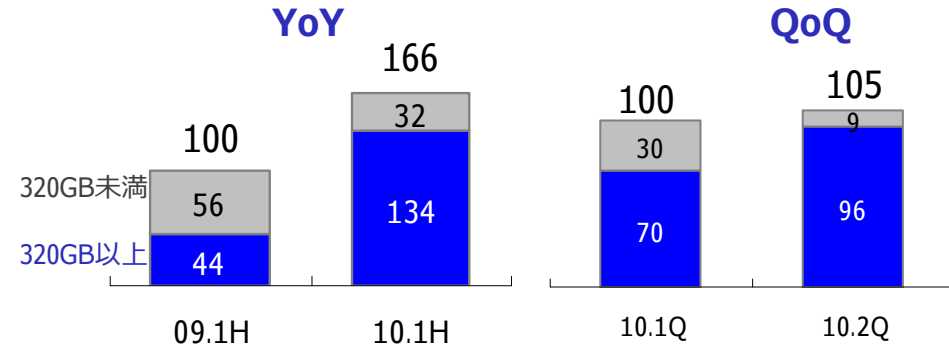
### 主要製品販売数量

09.1H/10.1Qを100とした場合の指数

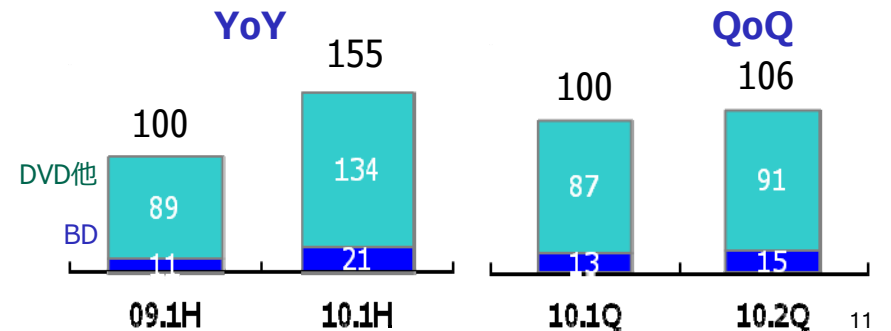
#### TACフィルム



#### ガラスHD基板



#### 光ピックアップレンズ



# オプト事業 2010年度上半期の収益分析

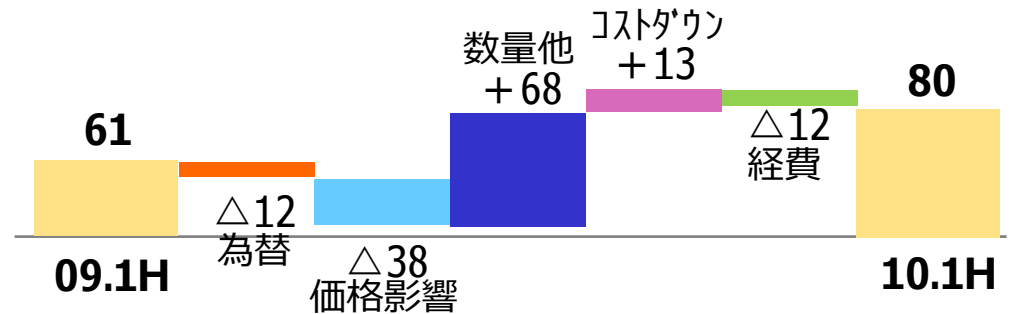


KONICA MINOLTA

## 対前年 (09.1H→10.1H)

【億円】

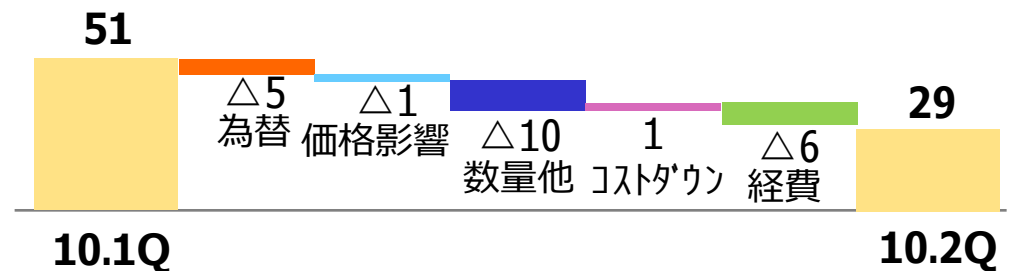
- ▶ 為替影響は、ガラスHDで主に発生。
- ▶ 価格影響は、レンズユニットとTACフィルムで主に発生。
- ▶ 数量増効果は、ガラスHD基板、TACフィルム、光ピックアップの順に貢献。
- ▶ 経費増は、TACフィルム第7工場稼働による償却費が発生。



## 対直前期 (10.1Q→10.2Q)

【億円】

- ▶ 数量他の減は、ガラスHD基板が増加するも、TACフィルム生産調整により減。
- ▶ 経費増は、新規分野等の研究開発費が増加。



# 「成長軌道への転換」:2010年度上半期の主な施策・成果



KONICA MINOLTA

## アジア市場での販売拡大

- ▶ 情報機器事業: 中国で新興国専用機の拡販でシェア拡大。  
インドでMFP販売会社を設立(7月)し、事業展開力を強化。
- ▶ メディカル事業: インドで医療用機器販売会社を設立(6月)し、販売・サービス体制を強化。
- ▶ その他の事業: 計測機器事業は、中国自動車メーカーの新規顧客獲得。  
産業用インクジェット事業は、アジア市場での売上急拡大。

## OPSのグローバル展開

- ▶ 「ジャンルトップ戦略」で築いた中堅有力顧客との強固な接点を活かし、OPSを通して新たな価値提供による事業機会拡大に向けて、グローバル体制を整備。  
併せて、GMA専任組織を設置。

## プロダクションプリントの販売拡大

- ▶ メディカル&グラフィック事業の印刷部門を情報機器事業のプロダクションプリント部門に統合。  
当社が有する知見、製品品質、事業ノウハウを集約し、デジタル商業印刷市場で本格開拓に着手。
- ▶ この施策に伴い、「選択と集中」を徹底し、米国でのCTP事業を売却。

# 2010年度業績予想 全社業績



KONICA MINOLTA

(単位:億円) (参考)

	10年度		増減 YoY	10年度半期別		増減 HoH	09年度 実績
	今回予想	前回予想		1H実績	2H見通し		
売上高	8,000	8,300	-4%	3,918	4,082	4%	8,045
営業利益	500	500	0%	226	274	21%	440
(営業利益率)	6.3%	6.0%		5.8%	6.7%		5.5%
のれん代償却費	85	90	-6%	43	42	-2%	92
のれん代償却前営業利益	585	590	-1%	269	316	17%	532
(のれん代償却前営業利益率)	7.3%	7.1%		6.9%	7.7%		6.6%
経常利益	430	460	-7%	179	251	40%	408
当期純利益	200	200	0%	86	114	33%	169
(当期純利益率)	2.5%	2.4%		2.2%	2.8%		2.1%
為替レート	USD	86.97	※90.00	88.94	85.00	△ 3.94	92.85
	Euro	111.92	110.00	113.83	110.00	△ 3.83	131.15
※10年度2Q以降の前提レート							
設備投資	500	550	△ 50	246	254	8	369
減価償却費	630	650	△ 20	275	355	80	612
研究開発費	780	800	△ 20	353	427	74	685
FCF	250	200	50	125	125	0	729

# 2010年度業績予想 セグメント別売上高・営業利益



KONICA MINOLTA

(単位:億円)

売上高	10年度			10年度半期別		増減 HoH	09年度 実績
	今回予想	前回予想	増減	1H実績	2H見通し		
情報機器	5,490	5,600	-2%	2,661	2,829	6%	5,408
オプト	1,370	1,440	-5%	692	678	-2%	1,367
メディカル&グラフィック	890	1,020	-13%	449	441	-2%	1,044
その他事業	170	170	0%	80	90	13%	145
本社費用・調整他	80	70	14%	37	43	16%	81
グループ計	8,000	8,300	-4%	3,918	4,082	4%	8,045

営業利益	10年度			10年度半期別		増減 HoH	09年度 実績
	今回予想	前回予想	増減	1H実績	2H見通し		
情報機器	456	440	4%	196	260	33%	390
(営業利益率)	8.3%	7.9%		7.4%	9.2%		7.2%
オプト	150	205	-27%	80	70	-12%	144
(営業利益率)	10.9%	14.2%		11.6%	10.3%		10.5%
メディカル&グラフィック	16	20	-20%	6	10	72%	15
(営業利益率)	1.8%	2.0%		1.3%	2.3%		1.4%
その他事業	25	15	67%	11	14	27%	11
本社費用・調整他	△ 147	△ 180	-	△ 67	△ 80	-	△ 119
グループ計	500	500	0%	226	274	21%	440
(営業利益率)	6.3%	6.0%		5.8%	6.7%		5.5%



## オフィスMFP

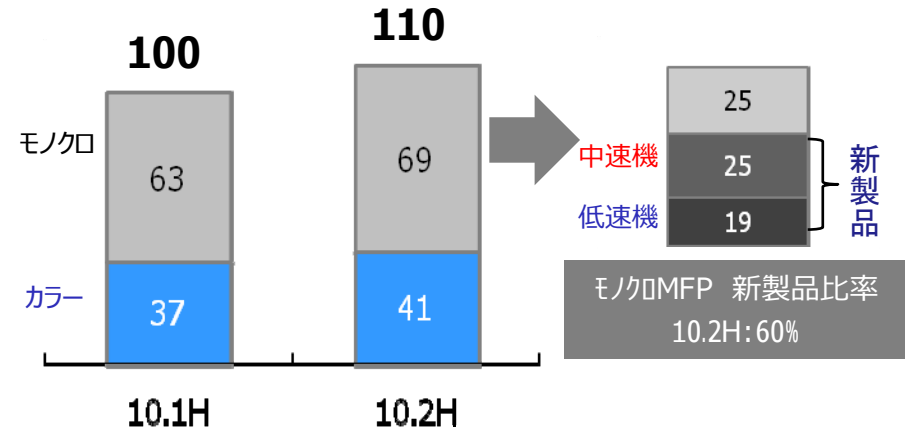
- オフィスMFP販売台数 : +10%/HoH
- ノンハード売上(現地通貨ベース) : +2~3%/YoY

### <主な取り組み>

- ▶ 日米欧でのカラー/モノクロMFP新製品の販売上積み。
- ▶ 中国、インドでの更なる販売拡大。
- ▶ OPS展開の加速とGMA獲得

## オフィスMFP販売台数(HoH)

10.1Hを100とした場合の指数



## プロダクションプリント

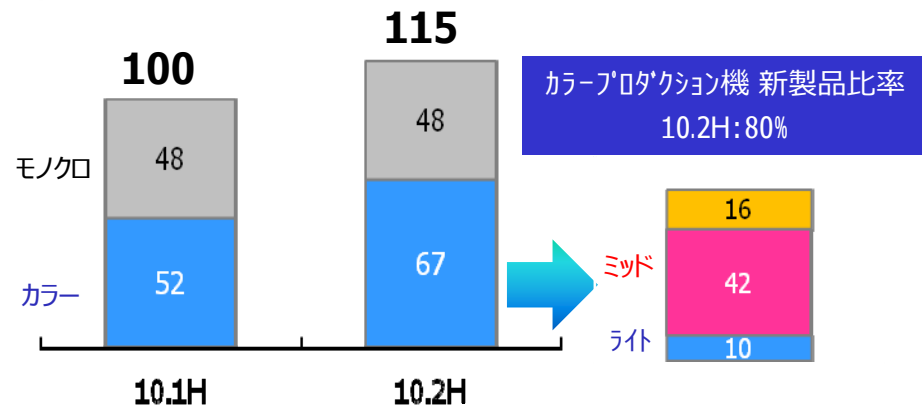
- プロダクション機 販売台数 : +15%/HoH

### <主な取り組み>

- ▶ カラー新製品3機種の本格導入。
- ▶ デジタル商業印刷分野での展開加速。
- ▶ 印刷部門統合のシナジー効果の早期実現。

## プロダクション機 販売台数(HoH)

10.1Hを100とした場合の指数



# 情報機器事業 2010年度下半期の戦略商品

モノクロ

カラー



Digimaster シリーズ



**bizhub PRO**  
1200



**bizhub PRO**  
1051

**bizhub PRO**  
950



ヘビープロダクション領域

**bizhub PRESS C8000**

NEW



ミッドプロダクション領域

**bizhub PRESS**  
C7000

NEW



**bizhub PRO**  
C65hc



ライトプロダクション領域

**bizhub PRESS**  
C6000

NEW

**bizhub PRO**  
C5501



# オプト事業 2010年度下半期見通し



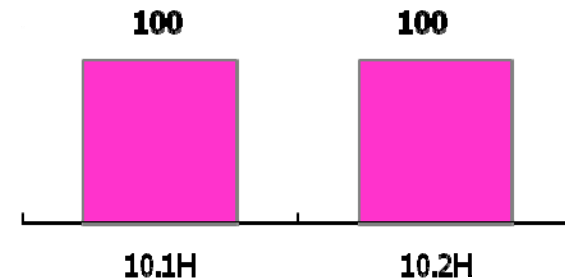
KONICA MINOLTA

## TACフィルム

- TAC販売数量 : +0%/HoH
- ▶ 調整影響で全体数量は当初予想から減少するが、主力のVA-TACは、新製品によるシェア挽回を見込む。

### TACフィルム台数 (HoH)

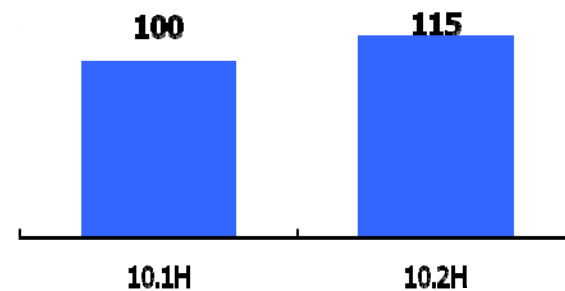
10.1Hを100とした場合の指数



## ガラスHD基板

- ガラスHD基板販売数量 : +15%/HoH
- ▶ 調整を機にマレーシアへの生産シフトを加速するとともに、500GB用基板の量産開始に向けた体制を整える。

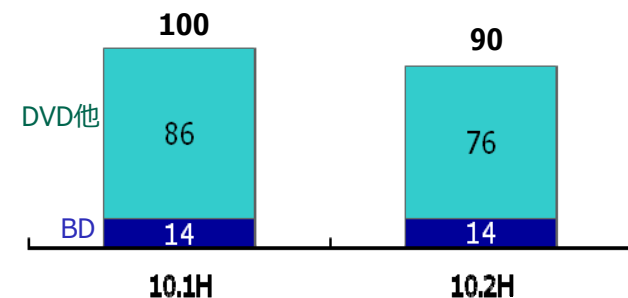
### ガラスHD基板 (HoH)



## 光ピックアップレンズ

- ピックアップレンズ販売数量 :  $\Delta$ 10%/HoH
- ▶ 調整・市況悪化を機に、シェア拡大と収益力向上に向けてコスト競争力を一層強化する。

### 光ピックアップレンズ (HoH)





- ▶ 情報機器事業は、円高環境の中で為替換算による収益の目減りはあるが、高採算のMFP新製品の拡販に注力し、売上総利益の最大化に努める。
- ▶ オプト事業は、顧客先での生産調整が長引き、厳しい環境にあるが、これを機にもう一段の体質強化を進める。
- ▶ その他の事業は、好調なモメンタムを維持する。
- ▶ 費用面では、将来成長に向けて必要な投資は、出来る限り確保する。



KONICA MINOLTA

# < 参 考 资 料 >

# 連結業績 上半期比較



KONICA MINOLTA

	10年度 1H	09年度 1H	YoY	[億円]
売上高	3,918	3,933	△ 15	
売上総利益	1,809	1,689	120	
(売上総利益率)	46.2%	42.9%		
営業利益	226	92	134	
(営業利益率)	5.8%	2.3%		
経常利益	179	87	92	
税前利益	116	69	47	
当期純利益	86	35	51	
(当期純利益率)	2.2%	0.9%		
EPS [円]	16.29	6.67		
設備投資額	246	174	72	
減価償却費	275	309	△ 34	
研究開発費	353	353	0	
FCF	126	321	△ 195	
為替レート [円] USD	88.94	95.49	△ 6.55	
Euro	113.83	133.16	△ 19.33	

# セグメント別売上高/営業利益

# 上半期比較



KONICA MINOLTA

売上高	10年度 1H	09年度 1H	YoY	[億円]
情報機器	2,661	2,599	61	
オプト	692	705	△ 13	
メディカル&グラフィック	449	529	△ 80	
その他事業	80	64	15	
HD他	37	36	2	
グループ計	3,918	3,933	△ 15	

営業利益	10年度 1H	09年度 1H	YoY
情報機器	196	79	117
(営業利益率)	7.4%	3.0%	
オプト	80	61	19
(営業利益率)	11.6%	8.7%	
メディカル&グラフィック	6	18	△ 12
(営業利益率)	1.3%	3.4%	
その他事業	11	△ 1	12
HD他	△ 67	△ 66	△ 1
グループ計	226	92	134
(営業利益率)	5.8%	2.3%	

# 連結業績 四半期比較



KONICA MINOLTA

	10年度 2Q	09年度 2Q	YoY	10年度 1Q	[億円] QoQ
売上高	1,972	2,039	△ 67	1,947	25
売上総利益	925	892	33	884	40
(売上総利益率)	46.9%	43.7%		45.4%	
営業利益	128	97	30	98	29
(営業利益率)	6.5%	4.8%		5.1%	
経常利益	115	81	34	64	51
税前利益	94	65	29	22	72
当期純利益	51	32	19	35	17
(当期純利益率)	2.6%	1.6%		1.8%	
EPS [円]	9.70	6.10		6.58	
設備投資額	135	100	36	111	24
減価償却費	136	155	△ 20	139	△ 3
研究開発費	182	176	△ 5	171	11
FCF	139	269	△ 131	△ 13	152
為替レート [円] USD	85.87	93.65	△ 7.78	92.01	△ 6.14
Euro	110.66	133.74	△ 23.08	116.99	△ 6.33



# セグメント別売上高/営業利益 四半期比較



KONICA MINOLTA

[億円]

売上高	10年度 2Q	09年度 2Q	YoY	10年度 1Q	QoQ
情報機器	1,333	1,327	5	1,328	5
オプト	340	365	△ 25	352	△ 12
メディカル&グラフィック	239	292	△ 53	210	29
その他事業	40	36	4	39	1
HD他	20	19	1	18	2
グループ計	1,972	2,039	52	1,947	25

営業利益	10年度 2Q	09年度 2Q	YoY	10年度 1Q	QoQ
情報機器	119	76	43	76	43
(営業利益率)	9.0%	5.8%		5.8%	
オプト	29	45	△ 16	51	△ 22
(営業利益率)	8.5%	12.2%		14.5%	
メディカル&グラフィック	7	10	△ 3	△ 1	8
(営業利益率)	2.8%	3.3%		-0.4%	
その他事業	6	1	5	5	1
HD他	△ 34	△ 34	1	△ 33	△ 0
グループ計	128	97	30	98	29
(営業利益率)	6.5%	4.8%		5.1%	

※その他事業：計測機器事業および産業用インクジェット事業

# 2010年度業績予想(上半期・下半期)



KONICA MINOLTA

	10年度 予想			09年度 実績		
	1H 実績	2H	年間	年間	YoY	
売上高	3,918	4,082	8,000	8,045	△ 45	
営業利益	226	274	500	440	60	
(営業利益率)	5.8%	6.7%	6.3%	5.5%		
経常利益	179	251	430	408	22	
当期純利益	86	114	200	169	31	
(当期純利益率)	2.2%	2.8%	2.5%	2.1%		
EPS [円]	16.26	21.43	37.72	31.93		
設備投資額	246	254	500	369	131	
減価償却費	275	355	630	612	18	
研究開発費	353	427	780	685	95	
FCF	126	124	250	729	△ 479	
	※3Q以降の想定レート					
為替レート[円]	USD	88.94	85.00	86.97	92.85	△ 5.88
	Euro	113.83	110.00	111.92	131.15	△ 19.24

1円あたり為替感応度(年間):	USD	Euro
売上高	25億円	13億円
営業利益	3億円	7億円

# 2010年度業績予想 セグメント別(上半期・下半期)



KONICA MINOLTA

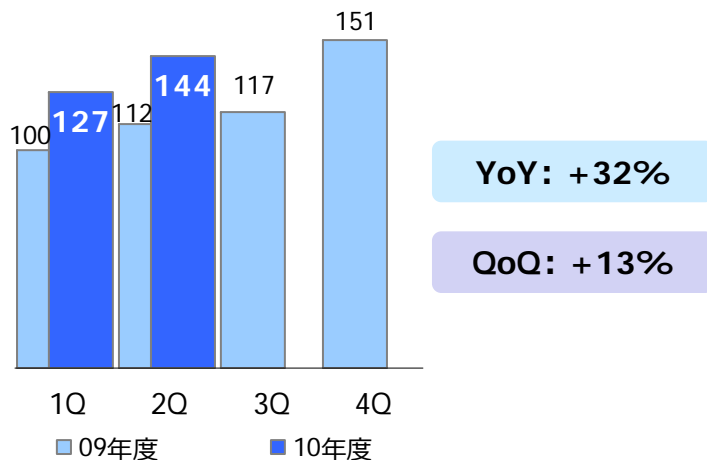
[億円]

売上高	10年度 予想			09年度 実績	
	1H 実績	2H	年間	年間	YoY
情報機器	2,661	2,829	5,490	5,408	82
オプト	692	678	1,370	1,367	3
メディカル&グラフィック	449	441	890	1,044	△ 154
その他事業	80	90	170	145	25
HD他	37	43	80	81	△ 1
グループ計	3,918	4,082	8,000	8,045	△ 45

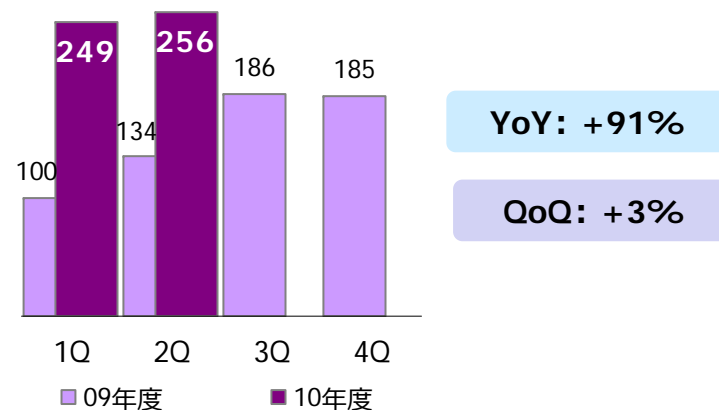
営業利益	10年度 予想			09年度 実績	
	1H 実績	2H	年間	年間	YoY
情報機器	196	260	456	390	66
(営業利益率)	7.4%	9.2%	8.3%	7.2%	
オプト	80	70	150	144	6
(営業利益率)	11.6%	10.3%	10.9%	10.5%	
メディカル&グラフィック	6	10	16	15	1
(営業利益率)	1.3%	2.3%	1.8%	1.4%	
その他事業	11	14	25	11	14
HD他	△ 67	△ 80	△ 147	△ 119	△ 28
グループ計	226	274	500	440	60
(営業利益率)	5.8%	6.7%	6.3%	5.5%	

# 情報機器事業 主要製品販売状況

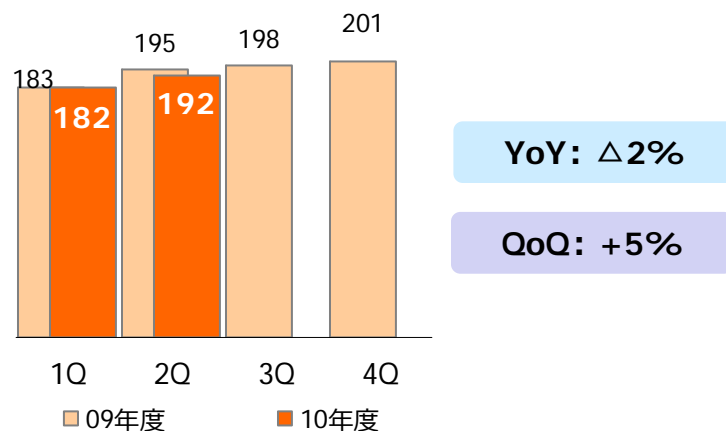
■ A3カラーMFP 販売台数\*



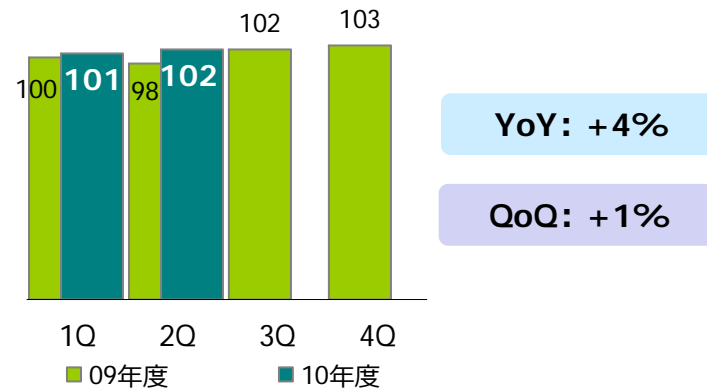
■ A4カラーMFP 販売台数\*



■ プロダクションプリント売上高 [億円]



■ MFPノンハード売上 (主要5販売) \* (為替影響排除後)

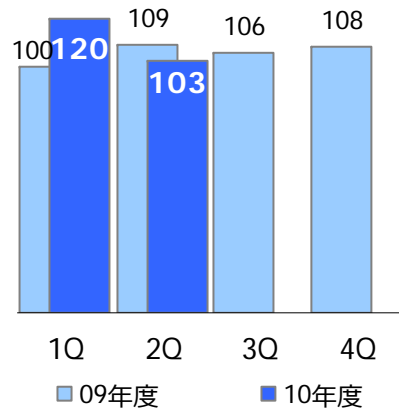


# オプト事業 主要製品販売状況



KONICA MINOLTA

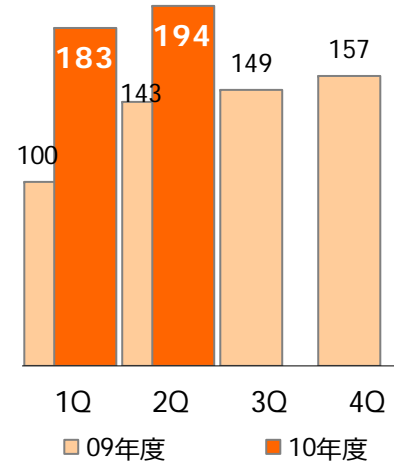
## ■ TACフィルム販売数量



YoY:  $\Delta 5\%$

QoQ:  $\Delta 14\%$

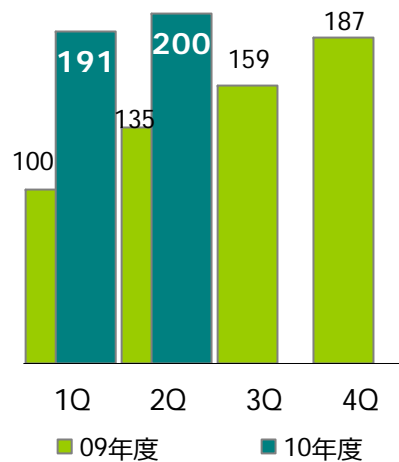
## ■ピックアップレンズ販売数量



YoY:  $+36\%$

QoQ:  $+6\%$

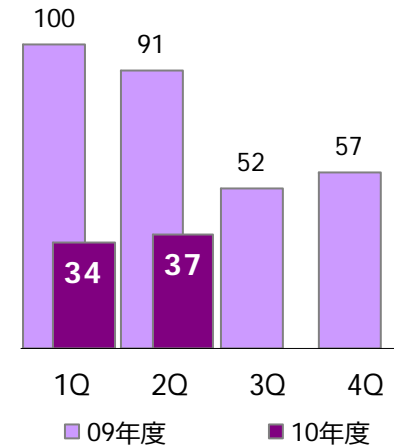
## ■ガラスHD基板販売数量



YoY:  $+48\%$

QoQ:  $+5\%$

## ■携帯電話用コンポーネント



YoY:  $\Delta 59\%$

QoQ:  $+8\%$

# 営業利益増減分析



KONICA MINOLTA

上半期 前年同期比較 (09年度 vs. 10年度)	[億円]			
	情報機器	オプト	その他	合計
<b>【要因】</b>				
為替影響	△ 94	△ 12	△ 9	△ 115
価格変動	△ 90	△ 38	0	△ 127
数量増減他	303	68	△ 30	341
コストダウン	58	13	2	73
経費増減	△ 61	△ 12	35	△ 37
<b>【営業利益】</b>				
増減額 (YoY)	117	19	△ 1	134

四半期 前年同期比較 (09年度 vs. 10年度)	[億円]			
	情報機器	オプト	その他	合計
<b>【要因】</b>				
為替影響	△ 60	△ 8	△ 6	△ 74
価格変動	△ 44	△ 18	0	△ 62
数量増減他	165	15	△ 8	172
コストダウン	27	5	△ 2	30
経費増減	△ 44	△ 10	19	△ 36
<b>【営業利益】</b>				
増減額 (QoQ)	43	△ 16	3	30

# 販売管理費・営業外損益・特別損益



[億円] KONICA MINOLTA

	10年度 1H	09年度 1H	YoY	10年度 2Q	09年度 2Q	YoY
<b>販売管理費</b>						
販売変動費	231	198	33	126	108	18
研究開発費	353	353	0	182	176	6
人件費	574	603	△ 29	280	293	△ 13
その他	425	444	△ 18	209	217	△ 8
<b>販売管理費 計</b>	<b>1,583</b>	<b>1,597</b>	<b>△ 14</b>	<b>797</b>	<b>795</b>	<b>2</b>
	* 為替影響額: △ 66 億円(実質増減 +52 億円)			△ 40 億円(実質増減 +43 億円)		
<b>営業外収支</b>						
金融収支	△ 7	△ 9	2	△ 4	△ 5	1
為替差損益	△ 33	2	△ 35	△ 7	△ 12	5
その他	△ 7	2	△ 10	△ 2	0	△ 2
<b>営業外収支 計</b>	<b>△ 47</b>	<b>△ 4</b>	<b>△ 43</b>	<b>△ 13</b>	<b>△ 16</b>	<b>3</b>
<b>特別損益</b>						
固定資産売却損益	△ 8	△ 15	6	△ 6	△ 13	7
投資有価証券および 関係会社株式評価・売却損益	△ 16	△ 2	△ 13	△ 6	△ 0	△ 6
固定資産減損損失	△ 1	△ 2	1	△ 1	△ 2	1
事業構造改善費用	△ 34	△ 12	△ 22	△ 10	△ 4	△ 7
その他	△ 4	13	△ 17	2	2	△ 1
<b>特別損益 計</b>	<b>△ 63</b>	<b>△ 18</b>	<b>△ 45</b>	<b>△ 21</b>	<b>△ 16</b>	<b>△ 5</b>

# 貸借対照表



KONICA MINOLTA

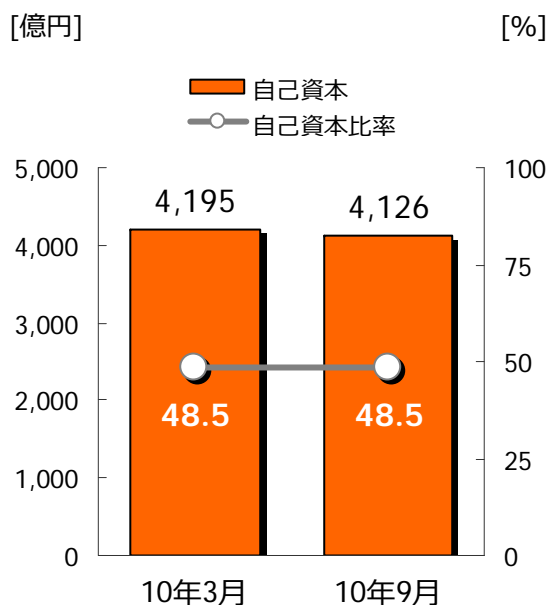
資産の部	[億円]			[円]		
	10年9月	10年3月	増減	10年9月	10年3月	増減
手元資金	1,695	1,641	53			
売上債権	1,607	1,777	△ 170	US\$ 83.82	93.04	△ 9.22
棚卸資産	1,058	983	75	Euro 114.24	124.92	△ 10.68
その他	561	491	70			
<b>流動資産 計</b>	<b>4,920</b>	<b>4,893</b>	<b>28</b>			
有形固定資産	1,984	2,051	△ 66			
無形固定資産	910	991	△ 81			
投資その他	691	724	△ 33			
<b>固定資産 計</b>	<b>3,585</b>	<b>3,765</b>	<b>△ 181</b>			
<b>資産 合計</b>	<b>8,505</b>	<b>8,658</b>	<b>△ 153</b>			
<b>負債および純資産の部</b>						
仕入債務	853	831	22			
有利子負債	1,909	1,974	△ 64			
その他負債	1,604	1,645	△ 41			
<b>負債 合計</b>	<b>4,366</b>	<b>4,450</b>	<b>△ 84</b>			
自己資本 (株主資本 + 評価換算差額等)	4,126	4,195	△ 69			
その他	12	12	0			
<b>純資産 合計</b>	<b>4,139</b>	<b>4,208</b>	<b>△ 69</b>			
<b>負債・純資産 合計</b>	<b>8,505</b>	<b>8,658</b>	<b>△ 153</b>			



# 連結貸借対照表 主要指標

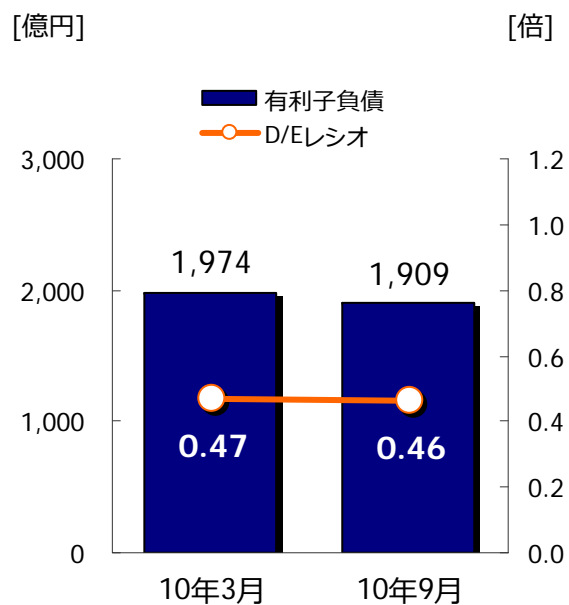


## ● 自己資本比率



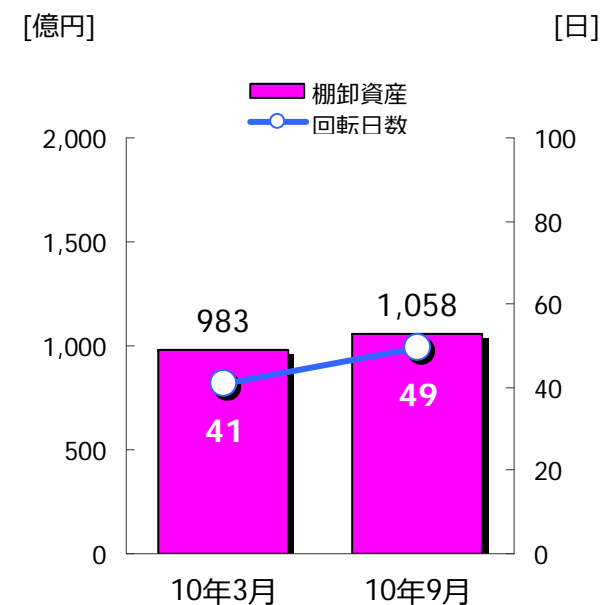
自己資本比率:  
 自己資本 ÷ 期末総資産  
 ※自己資本=期末株主資本+評価・換算差額合計

## ● 有利子負債残高・D/Eレシオ



D/Eレシオ:  
 期末有利子負債 ÷ 自己資本  
 ※自己資本=期末株主資本+評価・換算差額合計

## ● 棚卸資産・棚卸資産回転日数



棚卸資産回転日数:  
 期末棚卸資産 ÷ (売上/日)

# キャッシュ・フロー



[億円]

	10年度 1H	09年度 1H	YoY	10年度 2Q	09年度 2Q	YoY
税金等調整前純利益	116	69	47	94	65	29
減価償却費	275	309	△ 34	136	155	△ 20
法人税等の支払額	△ 31	62	△ 93	△ 17	71	△ 88
運転資本増減他	△ 41	101	△ 142	31	107	△ 76
<b>I. 営業活動によるキャッシュフロー</b>	<b>318</b>	<b>541</b>	<b>△ 223</b>	<b>244</b>	<b>398</b>	<b>△ 154</b>
<b>II. 投資活動によるキャッシュフロー</b>	<b>△ 192</b>	<b>△ 220</b>	<b>28</b>	<b>△ 105</b>	<b>△ 129</b>	<b>24</b>
<b>I.+ II. FCF</b>	<b>126</b>	<b>321</b>	<b>△ 195</b>	<b>139</b>	<b>269</b>	<b>△ 131</b>
有利子負債の増減	△ 31	137	△ 167	△ 45	△ 75	31
配当金の支払額	△ 40	△ 53	13	△ 1	△ 0	△ 1
その他	△ 7	△ 10	3	△ 4	△ 5	1
<b>III. 財務活動によるキャッシュフロー</b>	<b>△ 78</b>	<b>74</b>	<b>△ 151</b>	<b>△ 50</b>	<b>△ 80</b>	<b>31</b>